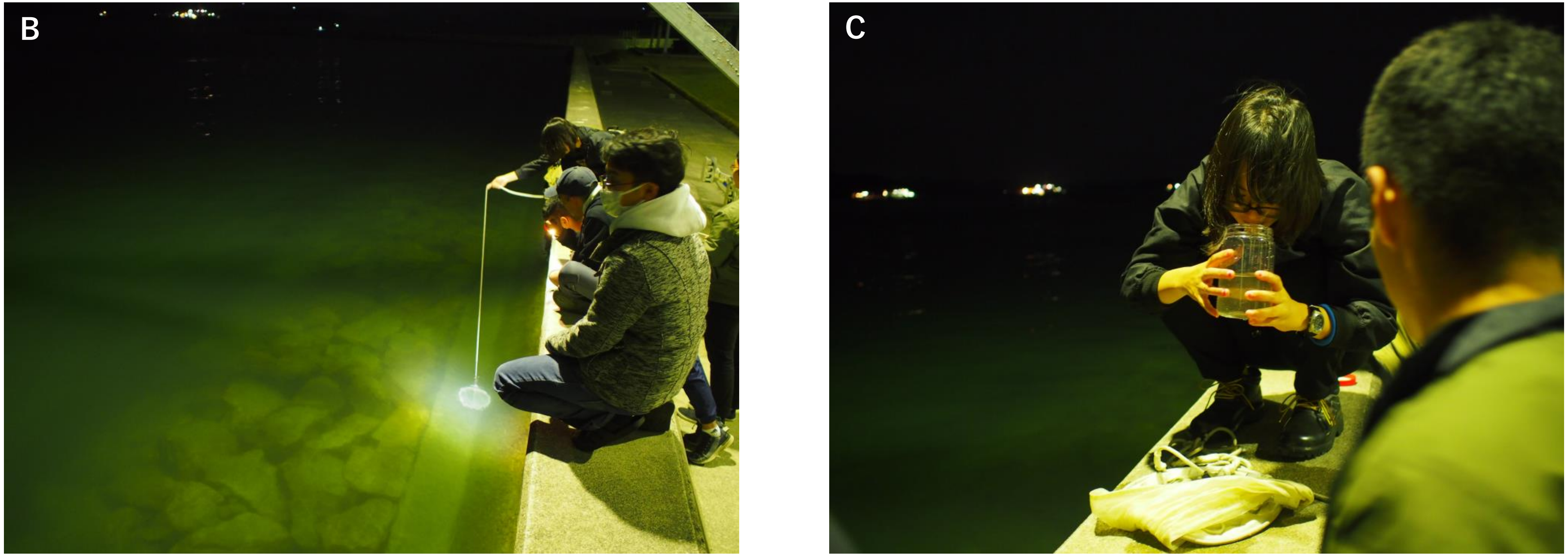
2019年 (令和元年) 11月 10日 (日) ～12日 (火)
北里大学 海洋生命科学部の学生8名と同学部教員2名が研究調査のために、
広島大学 竹原ステーションおよび実習船「豊潮丸」を利用しました。
また、北里大海洋以外にも、東北大学大学院農学研究科、横浜・八景島シーパラダイス、なぎさ水族館、ならびに加茂水族館の職員の方々も来所し、今回乗船されました。

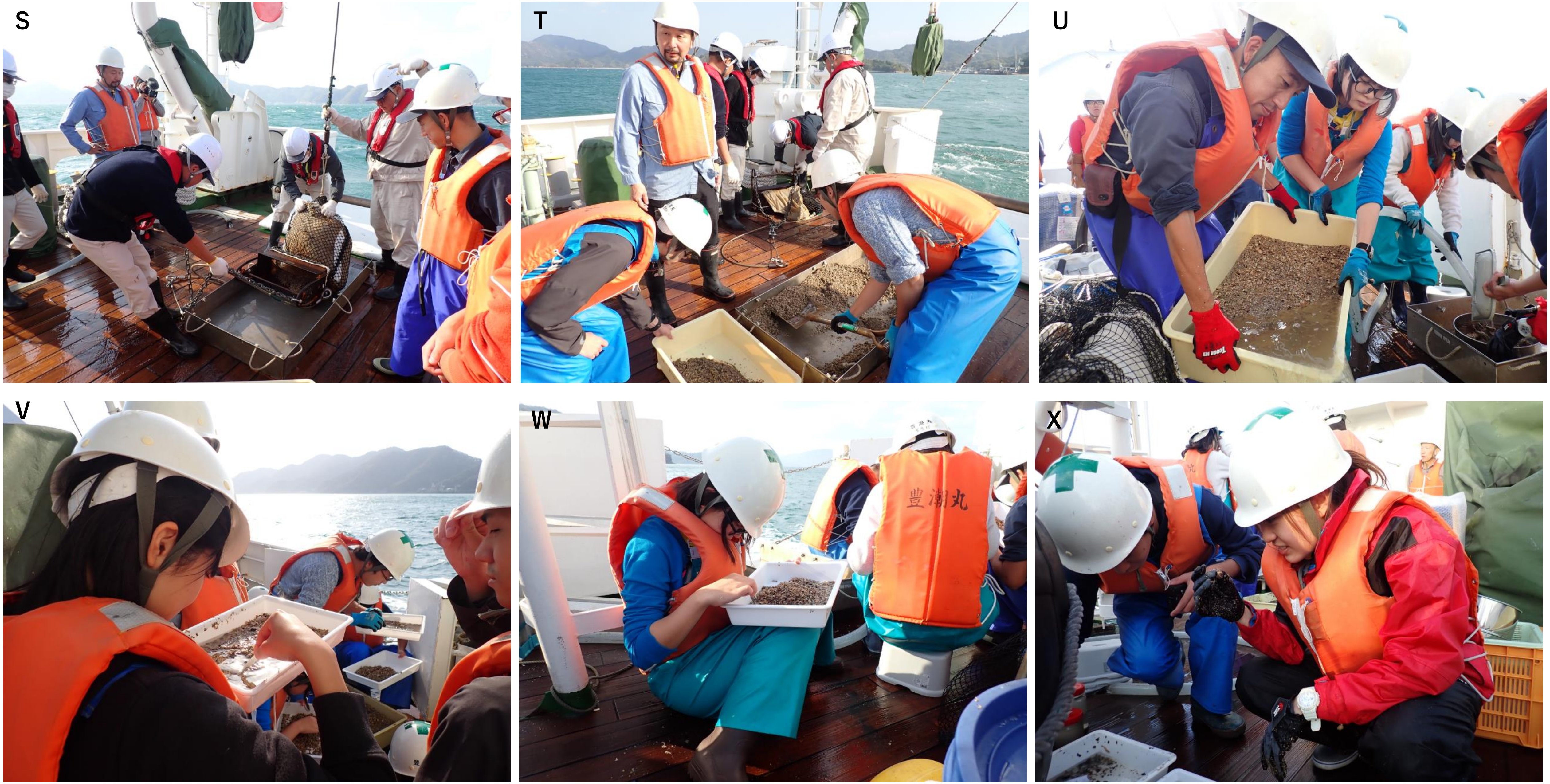
竹原ステーションでの夕食風景 (A).
竹原ステーション及び翌日からの航海調査に先立ち、夕食の席で研究テーマなどについて自己紹介が行われました (A1 – A6).



夕食後、行われた夜間プランクトン採集の様子 (B, C).　採集したプランクトンを顕微鏡下で観察する学生ら (D – F).

北里大学＆広島大学合同研究セミナーの様子(G - L).
近藤助教によるハチ干潟でのカブトガニ研究に関する発表の後、広大大学院生2名、そして北里大学院生3名の研究発表が行われた.

竹原港に着岸する広島大学実習船「豊潮丸」(M, N). 学生によるCTDのオペレーション作業風景 (O). CTDによる観測の様子 (P).
丸稚ネットを用いたプランクトン採集の様子 (Q, R).



後部甲板上でのドレッジ作業風景 (S - X).　採集された砂礫の中から生物を探すソーティング作業中の学生ら (V - X).

寄港地 (尾道港) に入港する豊潮丸 (Y).　集魚灯を使用した夜間プランクトン採集の様子 (Z).　採集された生物を観察する大学生と水族館職員の方々 (a - b).
船内での歓談風景 (c).　下船後、採集されたヒクラゲを持ち帰るためにパッキングする水族館職員の方々.